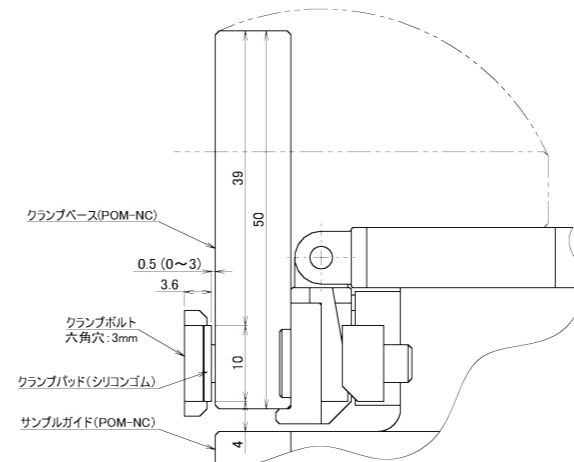
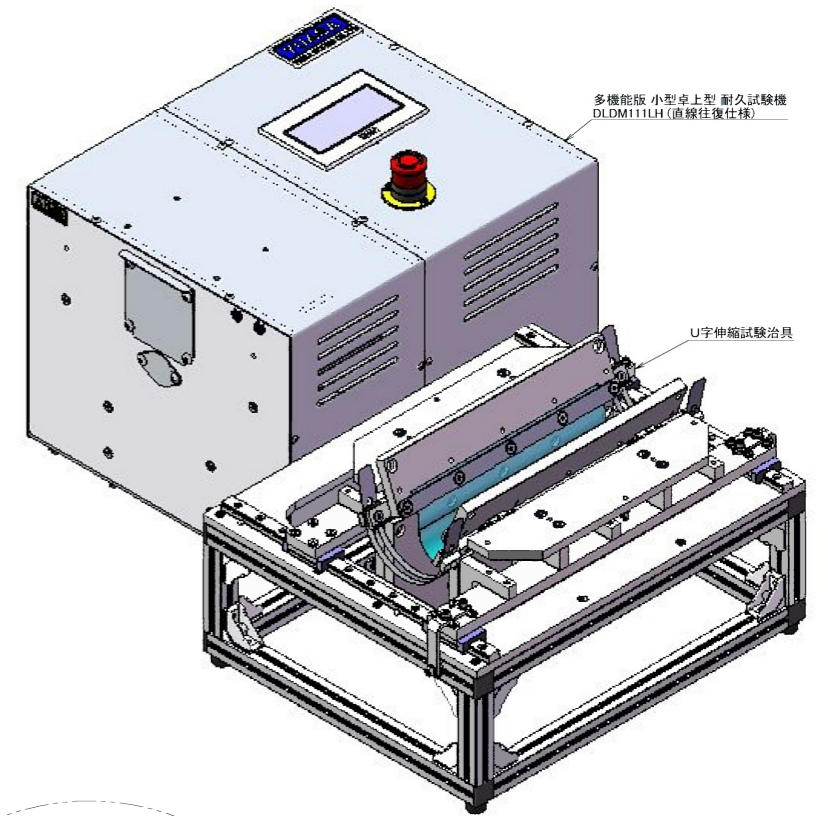
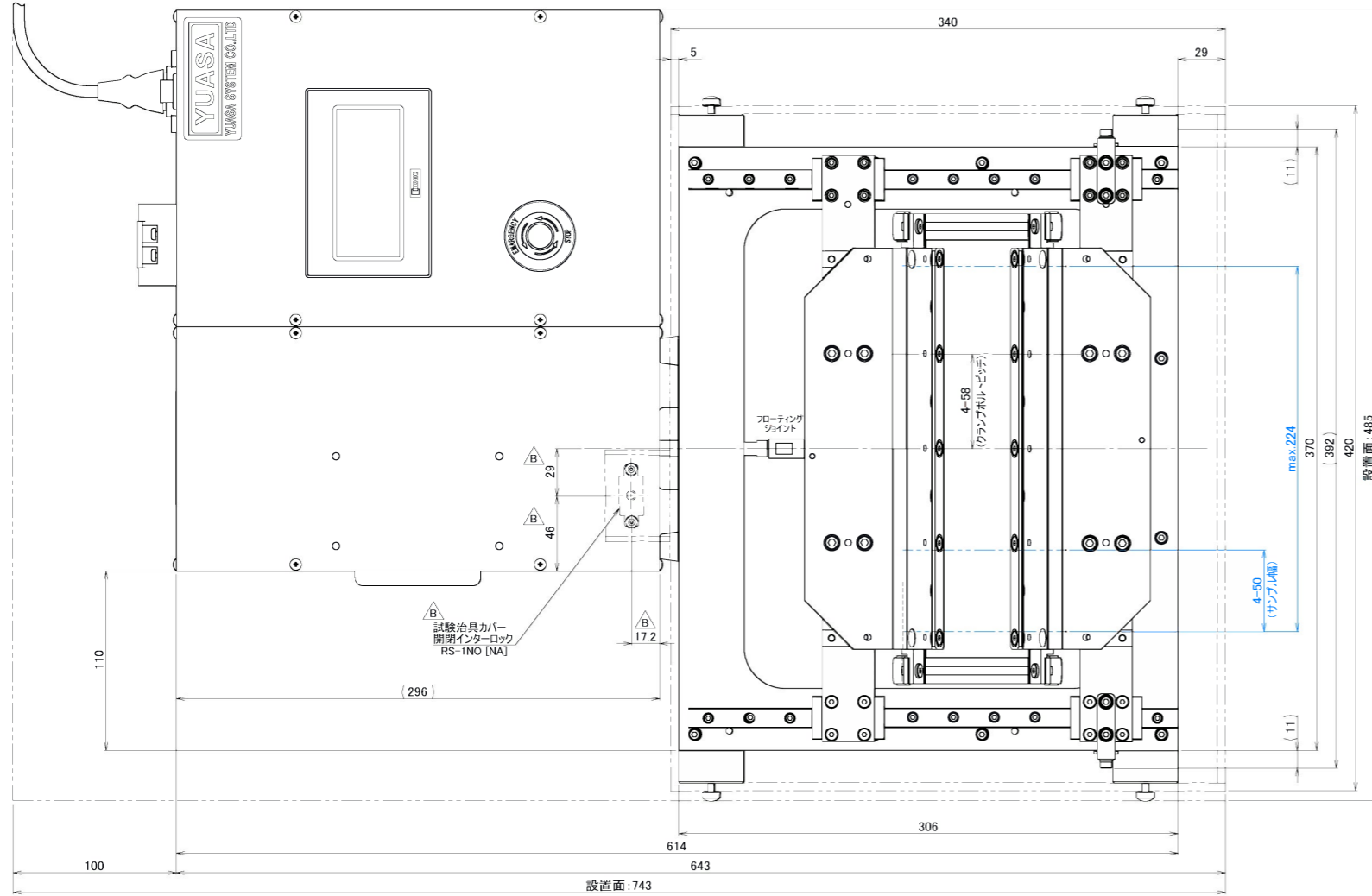


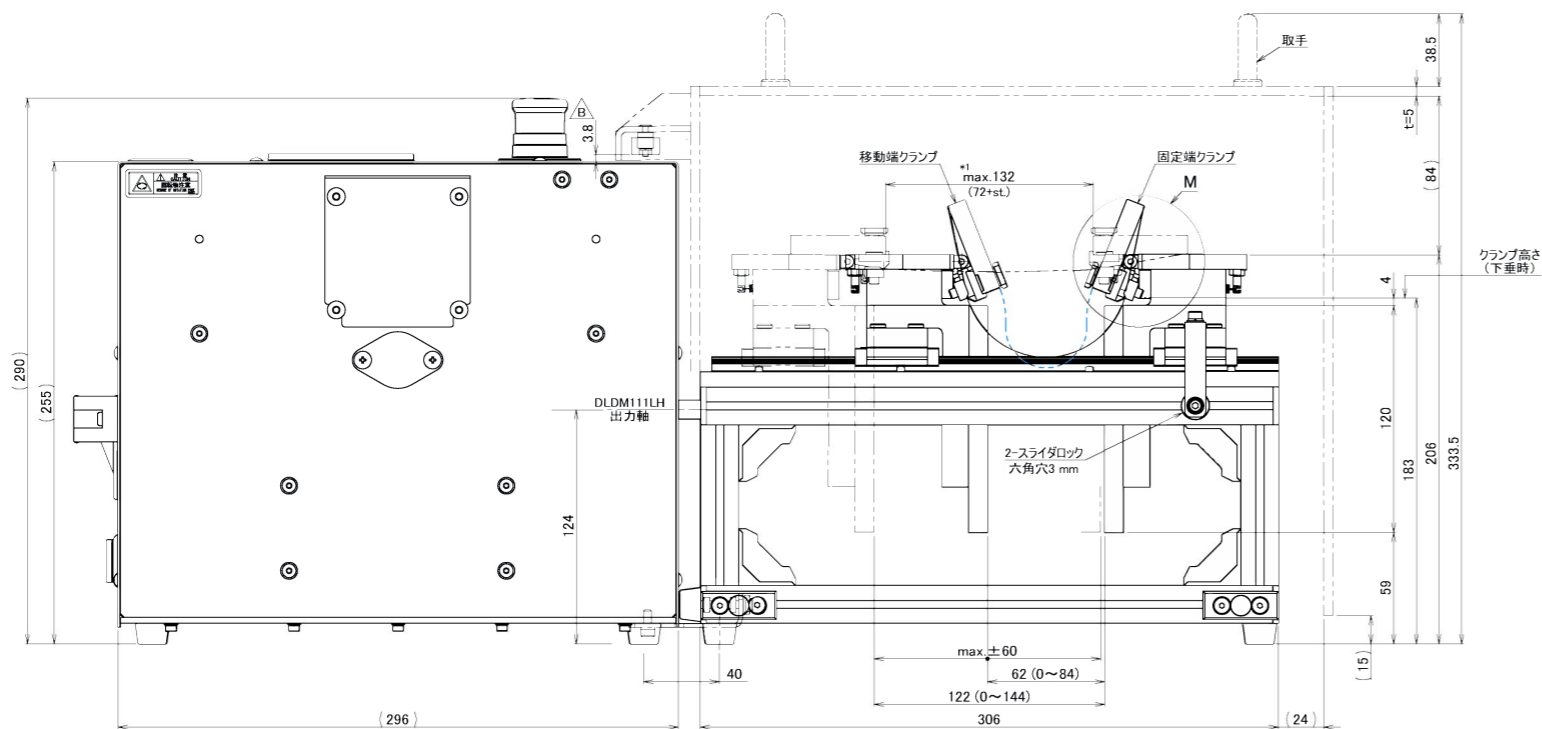
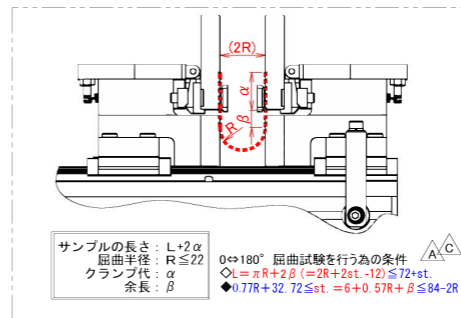
当仕様図は改良のため予告無く変更する場合がありますのでご了承ください。

標準仕様図

改訂 No.	変更 内容	担当 氏名	日付 年月日
A	追記訂正 (条件式)	N Ando	Oct. 25, 2016
B	試験治具カバー及びインターロックの仕様変更	A M	Nov. 10, 2016
C	条件式修正, 最大屈曲半径変更 (R27⇒R18)	N Ando	Jan. 14, 2017



DETAIL of M  
SCALE 1:1  
《チルトクランプ》  
(移動端/固定端 共通)



項目	内容
治具概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>チルトクランプ機構により、直線状からU字状に折れ曲がる屈曲試験 (↔U) を行うための試験治具です。折り曲げ動作は板ばねで制御されている為、サンプルは試験治具からの張力を受せず、自然に変形します。</li> <li>チルトクランプを固定する事で、U字状に折り曲げられたサンプルの伸縮試験 (U↔U) や直線状に取り付けられたサンプルの伸縮試験 (↔↔) も行うことができます。</li> </ul>
試験仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大サンプル厚: 3 mm</li> <li>最大サンプル幅: 224 mm</li> <li>最小サンプル長: 56+クランプ代 mm (※0°180° 屈曲試験時)</li> <li>最大サンプル長: 0~180° (試験条件によっては、屈曲角度が180° 未満になります)</li> <li>屈曲角度: 0~180° (下記「面間距離」による ※0°180° 屈曲試験時)</li> <li>屈曲半径: 0~18 mm (下記「面間距離」による ※0°180° 屈曲試験時)</li> <li>面間距離: 0~144 mm (移動端が後退端にある時の、固定端との距離)</li> <li>※面間距離が144 mmの時に、水平になったチルトクランプの間隔は132 mmです(クランプ代を除く、左図*)。</li> <li>※付属クランプ使用時の最小面間距離は、10+サンプル厚×2 mmです。試験条件により、クランプ同士が干渉する場合は、粘着テープ等でサンプルを固定してください。</li> <li>試験ストローク: 0~±60 mm (DLDM111LH 機構調整)</li> <li>試験速度: 10~90 r/min (DLDM111LH ホイール調整)</li> <li>絶縁: サンプル把持用のクランプバー(金属部)および、ボルトを除き、サンプルと試験治具は全て絶縁されています。</li> </ul> <p>※その他、DLDM111LHの詳細仕様は、別紙を参照してください。</p>
使用環境	温度: +5~+40°C 湿度: 15~85%RH (結露なきこと)
質量	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験機本体: 約 17.0 kg</li> <li>試験治具: 約 7.5 kg</li> <li>試験治具カバー: 約 4.0 kg</li> </ul>
備考	* 試験条件を変更する際は3 mmヘキサゴンレンチを使用します。(DLDM111LHに付属されているT型レンチが使用できます)

標準仕様書の構成  
 ・ET254A002-005 : Test Jig, Tension-Free Folding  
 ・ET1136A001-004 : Floating Joint  
 ・ET1209A004-001 : Joint Bracket  
 ・ET1500A003-027 : Cover, Test Jig

材質	第3角法	尺	名
MATERIAL	THIRD ANGLE	SCALE	多機能版 小型卓上型 耐久試験機
質量	PROJECTION	1:2	DLDM111LH
表面処理	DATE	作成日付	U字伸縮試験治具仕様
SURFACE	DATE	May. 09, 2016	
PROTECTING	承認	承認者	
	Y. Okazaki		
熱処理	検図	検図者	
HEAT TREATMENT	H. Sasaki		
	設計	設計者	
	N. Ando		